

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら 浜松江之島教室			
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日 ~ 令和8年1月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21人	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日 ~ 令和8年1月16日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月13日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	非常時に対する訓練や防災学習が定期的に行われています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の中で避難に対する動きを定期的に取り入れて、繰り返し練習できる場を設けています。</li> <li>年間通じて大人の動きを確認するために訓練の回数を多く設定しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用曜日や回数が違うため、どのお子さんも避難訓練に参加できるように回数を調整していきたいと思います。</li> <li>・昨年度の反省をふまえて、改善点を話し合い安全に迅速に避難できる方法を見つけていきます。</li> </ul>
2	日々の活動が固定化されないように職員間でアイディアを出し合い様々な活動に取り組んでいます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門職の職員の意見を取り入れながら活動内容をチームで検討しています。</li> <li>活動表を作成し、活動内容が偏らないようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の教室や施設との交流を持ち、活動内容の意見交換の場を設けていきたいと思います。</li> <li>・常に子どもの興味・関心に目を向け、楽しく、わかりやすく活動に参加できる工夫を今後も続けていきたいと思います。</li> </ul>
3	送迎時や連絡ノートで、日々のお子さんの様子を保護者の方と共有し、共通理解に努めています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡ノートは、その日のお子さんの様子をわかりやすく丁寧に記載することを心掛けています。</li> <li>・送迎時は対面で保護者の方とお話できるので、ご家庭の様子も共有させていただき、困りごとなども共有しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務連絡や、配布・回収物のお知らせなどにもわかりやすく対応していきたいと思います。</li> <li>・保護者と共有した内容は支援に関わる職員全員で共有し、支援に当たっていきたいと思います。</li> <li>・保護者の困りごとや相談事にも迅速に対応し、対応策も共有していきます。</li> </ul>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所や地域の子どもたちと一緒に活動する機会が少なかったです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者のニーズがどれくらいあるのかを確認する機会がありませんでした。</li> <li>・事業所のことを知つてもらう活動の取り組みが行われていませんでした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の幼稚園や保育園等と連携していけるよう、地域の方に事業所のことを知つてもらう活動を取り入れていきたいです。</li> <li>・保護者のニーズを把握する機会を設けていきます。</li> <li>・他事業所との交流の場を作るため、教室間での連携を強化していきます。</li> </ul>
2	家族参加のイベントは数回行えましたが、保護者同士の交流の場が年1回しか開催できなかったです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>他イベントや、季節行事、面談などの合間に、上手く予定を入れられませんでした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来年度は保護者会の開催回数を増やしたいです。そのため開催時期の検討や、時間、内容など保護者のニーズを把握していきたいと思います。</li> <li>・お仕事をされている保護者も多いので、足を運んでもらう回数には配慮していきたいと思います。</li> </ul>
3	子どもの活動内容に合わせたのスペースの使い方に工夫が必要だと思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内での体を動かす活動は、スペースに限りがあり、怪我や事故が起こらないような工夫と配慮が必要だと考えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいセンターのホールの利用回数を増やしたり、公園や散歩の外活動も組み合わせながら工夫していきます。</li> <li>・午前中は2Fの支援室も有効活用していきたいと思います。</li> <li>・癪癪時やクールダウンの時にも対応できるようにしていきます。</li> </ul>

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら 浜松江之島教室		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日	~	令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日	~	令和8年1月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月13日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者同士のおしゃべり会を設定したり、親子イベントを開催することで家族支援の場を設定しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の悩み事や、大変な状況を1人で抱え込まないよう保護者同士話が出来るよう年2回のおしゃべり会を開催しています。</li> <li>親子、家族で参加してもらライイベントを今後も検討し、家族支援にも繋げていきたいと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おしゃべり会の開催時期が7月2月に設定しているが、2月は風邪も流行り、お休みする児童が多いので、開催時期を検討していきたいです。会の内容も同じにならないよう保護者のニーズを確認して開催したいです。</li> <li>親子イベントも楽しんでもらえるようなアイディアを出していきたいと思います。</li> </ul>
2	非常時に対する訓練を強化しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返し練習することが必要なお子さんが多いので、活動中にも防災頭巾を被る練習をしたり、歩いて避難するためには散歩の時間を設定したりしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練時に出た反省点、変更点を職員間で周知し、安全にスムーズに避難できる練習を今後も行っていきます。</li> <li>送迎対応は職員1人で行うことが多いので、安心して送迎に出られるよう送迎時訓練はもう少し頻度を上げて取り組んでいきたいと考えています。</li> </ul>
3	日々の支援内容が固定化されないよう、活動内容を工夫しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>週5日利用のお子さんが多いので、曜日によって活動内容を変えて予定を立てています。予定に縛られることなく、その日のお子さんの様子に応じて臨機応変に予定の変更をするなどの配慮もしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お子さんの興味、関心を探りながら気持ちをリフレッシュし、楽しい時間を過ごせるよう今後も子どもの様子をしっかり見て活動内容を考えていきたいと思います。</li> <li>できしたこと、新たな発見など今後も保護者との情報共有をしていきたいです。</li> </ul>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所や地域の他の子どもたちと一緒に活動する機会が設けられていません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者のニーズがどのくらいあるのかを確認する機会がありませんでした。</li> <li>事業所のことを知つてもらう活動の取り組みが行われていませんでした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お預かりしているお子さんの特性を考え、地域のお子さんとの交流の場を設けるにあたり、まずは事業所のことを地域に周知してもらう取り組みを進めたいと思います。</li> <li>保護者のニーズを把握する機会を設けていきます。</li> <li>他事業所との交流の場を作るため、教室間で連携を強化していきたいです。</li> </ul>
2	子どもの特性を十分に理解し、支援に当たるため職員のチームワークとスキルアップが必要だと感じています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援方法をチームで検討し共有して支援に当たっていますが、日々同じではない子どもの現れに臨機応変に対応できない時のチームでの対応方法を掘り下げて考えていく必要があると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの職員が困らず対応できるよう、支援方法や対応方法をチームで検討していきたいと思います。</li> <li>個のスキルアップに繋がるよう積極的に研修に参加していきたいと思います。</li> </ul>
3	子どもの活動するスペースの工夫を考えたいと思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>限られた空間を、パーテーションを使ってスペースを有効活用してきましたが、癪癪時、発作時、クールダウンが必要な時の環境を再検討する必要があると思います。</li> <li>それに伴い、マンツーマンでの対応の仕方も検討が必要だと感じています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音に敏感なお子さんも多いので、別室での対応も検討し、職員の対応方法もチームで考えていく必要があります。</li> <li>児発の支援室も有効活用するなど、限られたスペースの使い方を職員間で検討していきたいと思います。</li> </ul>